

ともだちのわ

T O M O D A C H I N O W A



稲毛幼稚園



千葉白菊幼稚園



真砂第一幼稚園



認定こども園 あすみ中央幼稚園

Contents

- P02 巻頭言 鶴岡 姫美子(千葉県幼稚園協会副会長)
- P03 特集 むし歯の原因と予防法 歯は命!!
千葉県歯科医師 山田 幸
- P04 千葉県食育のつどい
- P05 千葉県幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて
- P08 理事長・園長研修会 「元記者の憂い」に出席して
- P09 交通安全教室について／幼稚園&こども園フェア2025
- P10 お弁当・給食だいすき
- P11 保育室の窓から
- P12 千葉県幼稚園協会からお知らせ、編集後記

巻頭言 昭和・平成・令和そして未来へ



千葉県幼稚園協会 副会長

鶴岡 姫美子

(認定こども園 さつきが丘幼稚園 理事長・園長)

今年令和7年は昭和100年にあたります。昭和を懐かしむテレビを見ていて思い出したことがありました。1972年に沖縄が本土返還されましたが、本園の姉妹園の先生2人が沖縄の出身でした。返還前は沖縄に帰省する際はパスポートが必要で、円からドルに両替(1\$=305円)していました。高校を卒業して千葉市内の養成校の夜間部に通いながら、保育補助勤務をしてきていました。当時は子どもの数や幼稚園の数も増え、教員不足のため幼稚園協会では園長先生方が東北地方の養成校に出向き教員の獲得に奮闘したということを知っています。

本園でも殆どの先生方が東北地方等の出身で、県内では房総方面の出身者がおりました。自宅敷地内に職員寮を設け8人ほど先生方が居住していました。現在はどの業種に於いても人材不足で人材確保に悩んでいます。幼稚園も同様です。若い学生たちが幼児教育に関心を向けてもらえるように努力しなければなりません。

また、園での仕事の効率はめざましく進歩しました。昭和の時代は携帯電話やスマホ、ワープロやパソコン、コピー機、ファックスなどありませんでした。夏の研修には参加人数分の資料を何十枚も印刷して持参しました。印刷はガリ版印刷です。謄写ヤスリにロウ原紙を置き、鉄筆という先が尖った筆で

書きます。「私失敗しないので!」と心のなかで叫び集中して同じ筆圧で書きます。印刷はインクをローラーで均等に伸ばして謄写版でわら半紙に一枚一枚刷ります。最後の印刷まで丁寧に扱わないと悲惨な結果になります。調子が出た頃にはすでに職人技になっていました。インクの臭いをかぐと当時のことを思い出します。

現在は働き方改革により業務の負担軽減、効率化が進められています。ICT化により各クラスにはパソコンやタブレットが導入され、出欠の確認や連絡事項も円滑に行われ、指導案や要録作成もできるようになっています。研修や会議もリモートで行われ、事務処理もキャッシュレス化、AIをはじめDXやBPRの推進などデジタル化の波が押し寄せています。

昭和・平成・令和の時代を経て幼稚園も変わりました。水曜日と土曜日は半日保育、一日保育の降園時間は13時30分。平成4年に第2土曜日が休業日となり、平成7年に月2回、平成14年に完全学校週5日制になりました。これより殆どの園が月曜日から金曜日まで一日保育で降園時間も14時となり、その後預かり保育や給食の導入も増えました。平成27年には「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、認定こども園や施設型給付幼稚園に移行する園が増え、保育料無償化により保護者負担の軽減がなされました。

加速する少子化の問題は深刻です。園存続の問題に繋がります。令和5年に「こども家庭庁」が創設され、さまざまな政策を打ち出しています。次のステージへの展望とともに、私共の果たす役割がますます重要になってきます。課題は多くありますが理解を深め、進めていく力をつけていかなければならないでしょう。子どもたちと向き合う私たちですが、時代は変わっても「心」を育てることを忘れないようにしていかなければなりません。明日に向かって頑張っていきましょう。

特集 むし歯の原因と予防方法 歯は命!!

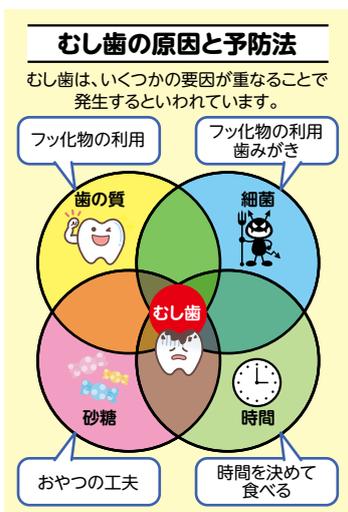


皆さんは「食べられない」ことを想像できますか?「噛めないものがある」など、お口に問題を持つ成人は意外に多くなっています。生涯、食事を楽しむためには「食べる機能」と「歯」が重要です。昔「芸能人は歯が命」というCMがありました。が「皆、歯は命」です(笑)。今回は歯を失う原因の一つ「むし歯」についてお話します。

千葉県歯科医師 山田 幸

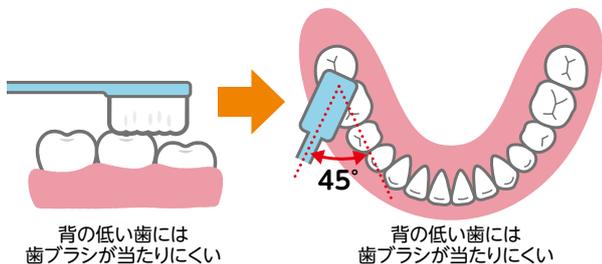
乳幼児期は、生涯を通じて歯の健康を守るための歯みがきの仕方や食習慣など、基本的なことを身につける時期です。良く噛んで食べることは、五感を育み、育ち盛りの子どもにはとても大切です。

むし歯は、むし歯の原因菌(以下むし歯菌)が引き起こす感染症で、むし歯菌が砂糖を餌にして作りだした酸によって、歯が溶けた状態を言います。むし歯は「むし歯菌」「砂糖」「歯の質」の3要素が重なった時「時間」の経過とともに発生するため、3要素と時間に注意すれば予防できます。



①「むし歯菌」対策

- 「乳歯がむし歯になっても永久歯に生えかわるから、大丈夫!」という考えは要注意です。乳歯の時から歯みがき習慣を身につけましょう。
- 5~6歳にかけて、歯で一番重要な永久歯「第一大臼歯」が生えてきます。この時期は手前の乳臼歯よりも高さが低いので、斜め横から歯ブラシをあててみがく必要があります。仕上げみがきは念入りにしてあげましょう。



②「砂糖」対策

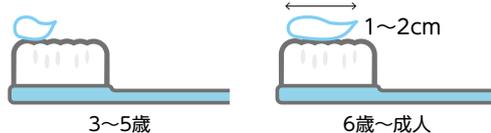
- 砂糖の摂取に注意しましょう。
- ジュースやスポーツドリンク、乳酸菌飲料には砂糖が多く含まれています。日常の水分補給はお茶やお水を習慣にしましょう。
- グミやキャラメルは歯の敵です!キシリトールは「むし歯の発生や進行を防ぐ効果」があるので、キシリトール入りのガムやラムネはお勧めです。



③「歯の質」対策

- フッ化物を利用し、歯を強化しましょう。
- 生え途中の歯は歯の質が弱く、また、歯ぐきが覆っていて歯みがきもしにくいいため、歯科医院でのフッ化物歯面塗布が推奨されています。
- 日々の歯みがきにはフッ化物入り歯みがき剤を使いましょう。
- 歯みがきの後のうがいは1回だけです!複数回のうがいは効果がなくなってしまいます。
- フッ化物入り歯みがき剤とフッ化物歯面塗布を併用すると、よりむし歯予防に効果的です。

歯みがき剤の量の目安



④「時間」対策

- 規則正しい食生活をしましょう。だらだら食べたり飲んだり、は、むし歯のリスク大です。

毎日、しっかり歯をみがいていても、歯ぐきの溝(歯周ポケット)の部分に汚れが付着します。かかりつけ歯科を持ち、定期的に歯科医院でケアを行いましょう。保護者の皆さんもお子さんと一緒に受診し、ご自身のむし歯や歯周病の早期発見・治療に努めることが、生涯自分の歯でおいしく食べるためには重要です。



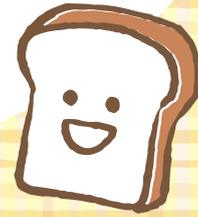
千葉県では各区の健康課で赤ちゃんから高齢者まで、歯と口の健康について、歯科衛生士が個別に相談に応じています。お気軽にお申込みください。

また、職場でお口の健康に取り組みたい、歯のことをもっと知りたい...等「事業所での口健康セミナー」をご希望の方は右記二次元コードからお申込み下さい。

生涯、食事を楽しめるお口を目指しましょう!



食育のつどい



食育の取り組み

認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園 杉崎 由美

令和6年6月19日から28日に千葉市生涯学習センターにて、食育活動の紹介や栄養バランス、食品ロスについて考えるきっかけとなるパネル展が行なわれました。

今年度は認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園が食育の担当園となり、豊かな自然環境のなかで行っている食育活動をパネルで紹介いたしました。

お腹がすくリズムをもてるように、広い園庭

で身体をたくさん動かして遊ぶ時間をしっかりとつくっています。また、園庭の木の実を収穫し味わったり、園の敷地内にある農園では季節に応じた栽培を行ったりしながら四季折々の旬の味覚を楽しんでいます。

このように自然とかわり五感を働かせ、直接体験を通して『食』への関心や理解を深めることを大切にしています。



千葉県幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて

<第56回千葉県幼稚園教育研究会を開催しました>

コロナ対策で始まった規模を縮小した形の公開保育も3回目を迎えました。とはいえ、公開園の先生方は当日に至るまで大変だったことと思います。一方、参観の先生方は、他園を訪問できるまたとないチャンス。子どもたちと関わる楽しさはもちろん、大変さも充分感じている『仲間』の奮闘する姿に、微笑ましかつたり、時に大変そうだなとハラハラしたり…この研究会が、先生方にとって大きな刺激と学びに溢れた時間となっていれば幸いです。

穴川花園幼稚園 岡崎 桂子(研究委員長)

中央区 羔幼稚園 岸 恵

暖かな日の公開保育となりました。

日頃のあるがままの姿をご覧くださいことにしました。

全園児が好きなところで混じり合っただけ遊ぶ日々ですが、どんな展開になるのかは、子どもに主体があるため計り知れません。リレーが子どもたち主導で始まり、また遊具の貸し借り。勝って喜んだり負けてすねたり、そんなあるがままの子どもたちの姿でした。

自己を主張し、また学年を越えて支え合い楽しむ羔幼稚園の子どもたちにおつき合いくださりありがとうございました。



大きい組を真似て始めたリレー

中央区 認定こども園 双葉幼稚園 中嶌 あづさ

私たちの園はとても小さな園です。この小さな園舎に20名程の先生方がいらっしやると何だか子どもよりも先生方の方が多いのではと錯覚してしまう程でした。初めは子どもたちもそのような雰囲気にならざるに緊張している様子でしたが、皆様の温かいまなざしのなかで次第にいつも通りののびのびした姿で過ごすことができました。

分科会では「まるでお家のようなアットホームな幼稚園ですね」というお言葉もいただき、職員一同とても嬉しく、これからの保育への励みになりました。ご来園いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



年長組 さつまいもの収穫

中央区 認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園 和田 教枝

晴天に恵まれ、当日を迎えることができました。

子どもたちは、広い園庭で友達や保育者と一緒にたくさん身体を動かして遊んだり、秋の自然物を使って製作をしたりしながら、自分の好きな遊びを見つけ工夫をして楽しんでいました。来園された各園の先生方には、明德の豊かな自然を感じながら参観していただけたのではないかと思います。

分科会では園庭の維持や管理についての意見交換や、職員間の連携について話し合いが行われ、とても有意義な時間となりました。



明德の森の自然物を使った、製作遊び

美浜区 千葉白菊幼稚園 鳩川 理江

当日は天候に恵まれ、秋らしい気候のもとのおのびのびと生活する子どもたちの様子を参観していただきました。全学年毎日取り組んでいるかけっこやリレーを行い、主活動として年長組はクリスマス制作の仕上げ、年中組はドッジボール、年少組は園庭で自由遊びを行いました。半日日課の慌ただしい一日でしたが、子どもたちは普段と変わらない様子で過ごすことができました。

分科会では、先生方より温かいお言葉やご意見をいただきました。改めて、教育内容や指導について振り返ることができ、良い機会となりました。貴重なご意見を当園の教育に反映させ、子どもたちの成長の糧にしていきたいと思っております。ありがとうございました。



サンタさんからのお手紙だよ

美浜区 認定こども園 千葉さざなみ幼稚園 柴原 由美

天候に恵まれた教育研究会は、普段の保育を大切に臨みましたが、子どもたちは少し緊張をしている様子でした。ただ、参観した先生方には温かく見守っていただけのおかげで子どもたちも少しずつ本来の姿に戻ってきました。

4月より新園舎にての保育がスタートしました。保育もまだまだ手探りなところもあり、今回皆様からいただいた感想やご意見はとても貴重なものとなりました。これからも保育の向上に努めていきたいと思っております。



劇あそびの様子①



劇あそびの様子②

美浜区 認定こども園 千葉女子専門学校附属聖こども園 日暮 さつき

気持ちの良い天気にも恵まれ、無事に公開保育を終えることができました。「生きる力を引き出す」という研究主題を念頭に置き、日々の保育の立案や展開を心掛けていますが、今回このような機会をいただき、改めてみんなでじっくりと話し合う環境を作れたことが大きな収穫となり、自分たちの保育を見つめ直し、再確認する時間となりました。

当日はいつも通りに楽しく活動に取り組む子どもたちを見ていただけたと思います。

これからも良い形で公開保育が続いていくことを願います。



年長組 コロコロジェットコースター制作

稲毛区 認定こども園 稲毛すみれ幼稚園 米元 香里

11月とは思えない暖かな天候に恵まれ、研究会当日は、制作やたまねぎ染めなどの活動を参観していただきました。参加いただいた先生方からは、各学年がいろいろな植物を育て、食育や制作に活かしていることに興味を持っていただいたようで、ご自身の保育と照らし合わせたり、自園との違いを感じたりしているようでした。

今回の公開にあたり、園内の保育環境や保育内容について見直しをするよい機会となりました。本園にとって良い経験になったことに感謝いたします。今後も保育の向上に努めていきたいと思っております。



年長組 クリスマスリース作り

稲毛区 弥生幼稚園 佐久間 唯

弥生幼稚園の特色である「自然とのふれあい・表現する経験・作る経験」をもとに、園庭の植物マップ作り、園庭にある自然物を用いた制作、劇あそびや指人形劇の導入、三色食品群についての食育活動、土粘土でのお皿作りの活動を行いました。また、自然豊かな園庭で子どもたちが思い切り身体を動かしてあそぶ姿を参観していただきました。

分科会では、公開保育での活動に留まらず、普段の保育についてもお話を伺うことができ、実りある時間になりました。



今年もブタンがたくさん成りました！

若葉区 泉幼稚園 丹野 禧子

泉幼稚園は創立72年になりますが、脈々と引き継がれてきた「絵画」の活動について見ていただきました。絵画を通して「良くみる子」を育てていくことを保育の中核に据えています。「みる」は、見る、観る、診る、看る、視る、覧る等、漢字にするといろいろな意味を持っています。ただ見るのではなく、「ここはどうなっているのだろうか?」「こんなきれいな色はどうやって作るんだろう?」等、深くみることでよく考え、感じる子に育てていきたいと考えています。やらせるのではなく、活動に子どもが自ら関わり、主体的に生活する姿を絵画の窓から感じていただけたと思います。



題材に合った色を絵の具で混色し作る

若葉区 みのり幼稚園 岩館 正雄

公開保育当日まで、先生たちは研究を重ね、計画を練って準備してきました。子どもたちもたくさんの先生方の前で堂々と活動する姿を披露してくれ、研修終了後、先生たちはとても感激していました。参観後の分科会ではたくさんの応援の言葉をいただきました。園庭での保護者とのふれあい活動では、熱心な遊戯で参加していただき、感謝の思いでいっぱいになりました。ご協力ありがとうございました。公開保育を通じて担任とクラスの子どもの絆がより一層、深まりよかったです。



当日、朝の体操を参観いただく様子

若葉区 認定こども園 のぞみ幼稚園 田村 愛子

当園は小さな園なので、公開保育では大勢の先生方に子どもたちが圧倒されないかと心配していました。けれども、当日は暖かく穏やかなお天気に恵まれ、庭を広く使って遊ぶことができ、子どもたちは普段通りのびのびと遊んで過ごすことができました。

分科会やアンケートでは、当園の自由で子ども中心の保育実践や、一人ひとりの子どもたちに細やかに配慮できるだけの十分な保育者数を確保していることなどを高く評価していただきました。他園と情報交換することもでき、有意義な時を過ごすことができました。



汚れを気にせず思いっきり絵の具の活動！

緑 区 認定こども園 白梅幼稚園 海野 純子

本園では、ECEQを取り入れた公開保育を実施しました。保育活動は園児が興味関心を持ち主体的に楽しんでいる活動を中心に行い、普段と変わらない姿を参観していただきました。午後の分科会では、学年ごとにあげた「問い」に対し積極的な意見や感想をいただき、保育教諭一人ひとりに気づきがあり、学び多い時間となりました。公開保育後も保育を振り返りながら、明確となった課題を今後の保育に活かしていきたいと思います。本園の保育活動に興味を持ち、ご参加くださった先生方に心より感謝申し上げます。



年長組 食育活動「ピザ生地作り」をしているところ

緑 区 こざくら幼稚園 伊藤 千秋

秋晴れのもと10年ぶりに公開園となり、ご来賓の方々と40名の先生方をお迎えしました。子どもたちは緊張した様子もなくいつも通りに戸外遊びをし、朝の体操、各クラスでの保育を行いました。年少はボール運動、年中はピアノ、年長は千歳飴袋作り、そして満3歳クラスは冒険の丘で遊んだり、ヤギやウサギと触れ合ったりしました。

参観された先生方より挨拶と集中力を褒めていただき、これからの励みになり一層保育に邁進する気持ちになりました。



朝の体操

理事長・園長研修会 「元記者の憂い」に出席して

城徳学園いそべ幼稚園 園長 小川 達也

読売新聞の元記者であり、元読売巨人軍代表取締役社長・会長の石井一夫氏が「将来、私たち人類は、どんな社会を迎えることになるのか」そんな大きなテーマでお話なさいました。AI（人工知能）が数年後に全人類の知能を凌駕するレベルに達すると言われていた今石井氏は「社会はいかなる方向に進んでいくのか」をいくつかのAIに尋ねてみたそうです。その回答は、(1)デジタル化と技術革新(2)環境と持続可能性(3)社会の多様性とインクルージョン等、どのAIも似通っていて、そこから石井氏は没個性社会の到来を感じとったと言います。AIは可能な限りあらゆるデータを渉猟して“模範的な答え”を導き出すがゆえに、どのAIに聞いても似通った回答しか返ってこない。しかし各人、各組織が皆“AI流の正しい答え”に基づいて動いていたのでは、社会全体の面白さが失われてしまうのではないかと…。石井氏はまず、そんな標準化された没個性社会の出現を憂っていました。

次にデジタルデバイド（インターネットやコンピュータといった情報技術を活用できる人とそうでない人、その利用の程度による社会の分断状態）が起きる事象を挙げられました。

まとめに旧東京工業大学名誉教授の本川達雄先生の「ゾウの時間ネズミの時間」という著作を取り上げ、「大きさが異なる動物の間では、流れる時間の速度が違うらしい」という考えを紹介されました。「物理的な速度」とは異なる「感覚的な速度」生き物としての感覚に着目した考え方も、今後大切になるのではないのでしょうか。子どもとして過ごす時間はあっという間で、幼児教育の一日一日が大切であること。そして幼児教育に携わっている私たちに期待をしているとエールを贈られたと感じたのは私だけでしょうか。



交通安全教室

毎年、千葉市交通安全協会の方が市内の幼稚園、こども園、保育所等に訪問し、幼児交通安全教室を開催して下さいます。模擬教材や絵パネルを使い、楽しみながら交通ルールを学べるように講話と指導(室内と戸外のどちらかを選択)があります。今回は稲毛区の小中台幼稚園が11月14日に行った交通安全教室の様子を紹介します。

まず初めに協会の方々のお話を聞きました。パネルシアターを用いて望ましい道路の歩き方、気を付けるべきこと、飛び出しは非常に危険であることを子どもたちにわかりやすく教えてくださいました。



その後、園庭に出て模擬信号や横断歩道に見立てたラインを使用して実際に横断歩道を渡る練習をしました。右を見て、左を見て、もう一度右を見て手を挙げて渡ります。信号を見ていないと途中でチカチカすることがあります。目線や気を付けるべきことをその都度教えてくださいました。

望ましい渡り方は・・・3ステップの動作とセリフが必要です!

- ① 両手を身体に付けて気を付けの姿勢 「きちんと止まって」
- ② 人差し指立ててを口元に付けてから 「ワン(右) ツー(左) スリー(右)」
- ③ 手を高く、まっすぐに上げて 「ゴー」



交通ルールを守って事故にあわないように気をつけましょう!

2025

幼稚園 & こども園フェア



7月27日(日) イオンモール幕張新都心にて開催決定!

幼稚園&こども園フェアは、千葉市の幼稚園やこども園について未就園児の保護者様に知っていただくことがねらいです。2018年に開始し、以前はきぼーるや千葉そごうで開催しておりました。2023年よりイオンモール幕張新都心での開催となり、大勢の方にお越しいただいております。

2025年も皆様に楽しみながら園選びをしていただけるように実行委員一同、企画を進めております。日時や詳細が決まりましたら千葉市幼稚園協会のHPや協会加盟園よりお知らせいたします。昨年度よりも更に良いイベントになりますよう、また、皆様に喜んでいただけるように新企画も検討中です。お楽しみに!!



お弁当・給食だいすき



お友だちや先生と一緒に食べるお昼ご飯は特別な時間です。千葉市の幼稚園・こども園の昼食は「持参するお弁当」や「給食（自園・外注）」などさまざまです。今回は千葉県幼稚園協会加盟園の中で一番歴史が長い羔幼稚園のお弁当と自園給食だからこそその献立を提供している加曽利幼稚園の給食をご紹介します。

お弁当だいすき

年少

メニュー ・しらすとワカメのおにぎり ・ハンバーグ ・卵焼き ・人参のグラッセ
・かぼちゃのサラダ ・ブロッコリー ・きゅうりのゆかり和え



～お母さんからのコメント～

毎日のお弁当は定番に陥りがちなので、時々新メニューを導入しています。ゆかり和えは其中でも大成功の一つです。野菜が苦手な娘が「ママ、また明日も入れて」と空っぽの弁当箱を返してくれた日は小躍りしました。以来お弁当はもちろんのこと、普段の食事でも野菜は何にでもゆかりを和えています。驚くほどよく食べます。

羔幼稚園 田中 絵里子

年長

メニュー ・さつまいもごはん ・インゲンとウインナーの肉巻き ・卵焼き ・人参の塩きんぴら
・紫キャベツの甘酢和え ・ブロッコリー



～お母さんからのコメント～

芋掘り遠足で「自分で採ってきた」お芋を使ったメニューが、この秋冬の我が家のトレンドです。

毎朝忙しく、凝ったものはなかなか作れませんが、蓋を開けた時に明るい気持ちになれるよう、彩り良く仕上げるように心がけています。

帰宅後、いつもピカピカのお弁当箱に、私も元気をもらっています。

羔幼稚園 藤崎 未来

給食だいすき

「リクエスト食材」

加曽利幼稚園 能勢 悦江

本園は「旬の食材を知り興味や関心をもつ」ことをねらいとして、子どもたちがクラスで話し合い、年に一度『リクエスト

メニュー ・菜飯 ・サバの塩焼き ・ひじきの煮物
・味噌汁 ・みかん

食材』を選びます。栄養士はそのリクエスト食材を使用した献立を立て、給食を提供します。今回のリクエスト食材には「サバ」が選ばれ、子どもたちは給食前に「サバ」の本来の姿や栄養について学び、給食を喜んで食べる姿が見られました。また「サバ」について学んだことがきっかけとなり、他の魚にも興味をもち、実物大に掲示された魚の名前を覚えようとする子もいました。

給食を安心安全に提供することはもちろん、食材がもつ本来のおいしさを知ってもらうために、積極的に旬の新鮮な食材を使い、できるだけ手作りしたものを提供しています。また、旬の食材のおいしさを引き立てる工夫の一つとして、汁物は昆布や鰹節、煮干しからだしをとっています。食材の自然のうまみを判断できる味覚を育てることも意識しています。食への興味と関心を育むために子どもたちが旬の食材を知り、実際にそれを使った給食をおいしく食べてもらうという経験を大切にしています。



すぐに結果を求めず、3年間をかけて確実に伝えていく食育が本園の給食にあります。日々、心と体が成長していくことと同じように「舌」も成長していくからこそ、食へのこだわりをもって手間をかけることが大切だと感じています。



ドッジボール

認定こども園 稲毛すみれ幼稚園 瀧澤 康朗

冬の寒い時期でも、元気いっぱい体を動かす子どもたち。なかでもひととき元気な声が響いているのが、年長組の子どもたちによるドッジボールです。年長組では、冬になると体操の時間にみんなでドッジボールを行ないます。難しいルールもだんだんと覚え、ボールを力強く投げたり素早く避けたりする姿に、子どもたちの心身の成長を感じます。

体操の時間でなくともドッジボールは大人気です。外遊びの時間になるとすぐに「ドッジボールやろう!」という元気な声が聞こえてきます。子どもたちだけで行なう試合では、線を出たかどうかなどで言い争いになることもあります。先生が審判をしなくても自分たちで解決しようとする姿が見られます。また、他学年の子どもたちもいる中で遊んでいると、年少や年中の子が「入れて!」と寄ってくることも。そんなときには、手加減してボールを投げたり、年下の子にボールを渡して投げさせてあげたりしながら一緒に楽しむ優しい姿が見られます。



ドッジボールを通じて友だちとの関わりを楽しむ子どもたち。子どもたちが笑顔で楽しく挑戦できる環境を大切に、成長をこれからも支えていきたいと思います。

私の好きな絵本

「さきちゃんのくつ」
作：そうまこうへい
出版社：フレーベル館

お母さんに新しい靴を買ってもらったさきちゃん、今まで履いていたうさちゃんの飾りがついた靴が捨てられてしまうかもしれないと不安な気持ちになります。嬉しい時も悲しい時もさきちゃんと一緒だったうさちゃんの靴。思い出いっぱいのお母さんを通して描かれるさきちゃんやお母さんの思いに、優しい気持ちになれる一冊です。

なかよしばたけでの収穫 秋のお芋ほり

認定こども園 みつわ台幼稚園 早川 晋

「見て見て、大きなおいも!」「こっちの方が大きいよ」「ぼくのが一番!」「わたしのと比べてみよう!」畑から子どもたちの歓声が聞こえてきます。

収穫の秋を迎え、幼稚園の「なかよしばたけ」では、サツマイモを子どもたちと一緒に掘りに行きます。自分たちの手で植えたサツマイモのつるが畑一面に広がり、毎年大きなイモが収穫できることを楽しみにしています。

サツマイモの他にも、ジャガイモと大根を育てており、冬休み前には、大根を収穫します。2月に入って、サツマイモを植えていた所にジャガイモを植えます。種いもとして植えたジャガイモは、夏休み前に収穫することができます。



店頭に並んでいる野菜より自分たちで育てた野菜に愛着もわき収穫するまでの成長の様子も学ぶことができます。また、自然の恵みを実感し、食についての意識を高めることもねらいとしています。収穫することを共に喜ぶだけでなく、持ち帰った野菜がのった食卓を家族一緒に笑顔で囲んでいる様子をいつも思い浮かべています。

私の好きな絵本

「雨、あめ」
作：ピーター・スピア
出版社：評論社

ある雨の日、2人の姉弟が、雨具に着替え傘をさして長靴を履いて外に出掛けていきます。はじめは、雨水の流れを見たり水たまりで遊んだりするだけでしたが…。雨の雫のついたクモの巣や水たまりに広がっていく水の輪を次々に発見していきます。文字のない絵だけのページをめくりながら、子どもたちとの対話が楽しめる1冊です。

林遊びの中で

認定こども園 鏡戸幼稚園 小笹 典子

鏡戸幼稚園には「かがみどの林」という子どもたちが大好きな遊び場があります。春はうぐいすの鳴き声の下、子どもたちは昆虫採集や草花摘みに興じ、夏は元気なセミが鳴き競い夕暮れをヒグラシがカナカナと知らせてくれます。秋は紅葉したもみじの落ち葉じゅうたんの上でゴロゴロ遊びを楽しみ、冬は北風にも負けず小枝を組み立てて焚き火ごっこからバーベキューごっこへと遊びが変化していきます。切り株を削って「粉チーズ鍋」をご馳走してくれる時もあります。木登り上手な年長児の真似をしながら低い木登りから経験を積んで木登り名人が増えます。クワガタの幼虫を大事そうに持ち帰り家庭で飼育をする子もいます。



この自然豊かな遊びがいつでもできるように毎朝の点検や手入れは保育者たちの大事な任務。今日も元気な林遊びの名人たちが新しい遊びを繰り広げています。子どもたちの感性と生きる力に日々驚き、心の豊かさに感激しています。

私の好きな絵本

「14ひきのシリーズ」
作：いわむらかずお
出版社：童心社

大きな森の木を改造した家に住む14匹のねずみの大家族の日常生活を通して家族の様子を綴ったお話シリーズです。10匹兄弟たちの遊びを通して四季の移り変わりを感じ取れます。おじいちゃんおばあちゃんの知恵が役に立ち、父さん母さんの子育てに愛情をもらえる作品です。

千葉市幼稚園協会からお知らせ

ちばシティポイント
対象事業

幼稚園・認定こども園等で働きたい方をサポートします!!

厚生労働大臣許可番号：12-ユ-300646

- 幼稚園教諭、保育士の資格をお持ちの方や資格取得見込みの方
- 子育て支援員として認定された方
- 上記以外の職種（栄養士、事務員、バスの運転手等）の方
- 子育てを終えて職場復帰を希望されている方

幼稚園・認定こども園で働きたい方や再就職を考えている方は、ぜひ、千葉市幼稚園協会HPの求職登録フォームよりご登録ください。資格をお持ちでない方もご相談ください。

千葉市幼稚園協会

検索

協会ホームページも
是非ご覧ください。



公式 X (旧 Twitter)
フォローお願いします。
(@youchien_chiba)



子育て電話相談室

毎週水曜日 AM10:00~PM4:00
(夏休み、冬休み、春休みを除く)

 0120-510-439

新規賛助会員のご紹介

- ・株式会社SINTERAS(シンテラス)
- ・一般財団法人ヤマハ音楽振興会

編集後記

1・2学期が過ぎ、幼稚園の各行事に楽しくそして一生懸命取り組んできた園児たちは大きく成長して、4月から新しい生活に備えています。今年度はコロナ禍からすでに3年、関係各委員や役員の方々のご尽力と各園の努力により各研修会や幼稚園教育研究会(公開保育)等の進め方が定着し、充実したものとなってきていると感じます。

年度末ではありますが、干支は辰年から巳年へ。巳年は、力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年とされています。他にも巳(み)と実(み)を掛けて「実を結ぶ」年と言われた

りもします。

これまで諸先輩方が築き上げてきた成果を基にこれからも社会の変化やニーズに対応した研修会・研究会を進めさらなる千葉市幼稚園教育の発展としたいものです。

最後になりますが、今年度、本誌に原稿を執筆していただいた方々に深く感謝申し上げます。また、本会報へのご意見・ご感想をお寄せいただければ、委員の励みともなり本誌向上にもつながるものと思いますのでよろしくお願いいたします。

あやめ台第二幼稚園 芝崎 易生